

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	67	利用者様のADL状態に差がある為、レクリエーション等においては一定の基準に応じた支援が困難である。	個々の利用者様のADL状態に分け隔てなく楽しむ事ができる支援の幅を広げる。	歩行困難な利用者様には、小物作りなどその人の能力に応じた楽しみ方、またレクリエーション以外でも共同で楽しむ事ができる取り組みの幅を広げる。	6ヶ月
2	60	個々の利用者様におかれましては、言語障害や自己主張の表現の表出が困難な方が居られる為。	利用者様一人、一人の生活歴などを分析してなじみの店や希望などを予測してケアが出来る様努める。	本人様の要望や希望にこたえられる様、外出支援に向けた取り組みを行い、また年間行事予定を作成し実践する。	6ヶ月
3	64	利用者様の家族様以外に交流が少ない。	積極的に地域住民やボランティアに対し、施設の取り組みや行事に参加して頂く。	グループホームという施設に対し、理解者や応援者が増えて行く様声掛けや体勢の整備をする。	6ヶ月
4					6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。